

平成 25 年度事業報告

期間：平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1、平成 25 年度の活動基本方針

NPO アエソンは、障がいがあってもなくても、誰もが、自分らしく、みんなと、地域で普通の生活ができる地域づくりをめざし、1、エンパワーメント2、インクルージョンの理念に基づいて、「その人の持つ力を引き出す支援」「力が発揮できるような社会環境を作る(調整する)支援」を行うことを活動の基本方針にしています。

2004 年 10 月 1 日に法人を設立し、NPO アエソンは、10 周年を迎えます。これまで歩んできたアエソンの活動を踏まえ、NEXT10 をめざして、文化・福祉・人権サポートを標榜する アエソンとして、何が出来るか長期計画、中期計画、短期目標を明らかにする 1 年とすべく、26 年度の新たな取り組みの準備をしました。

2、平成 25 年度の取り組み事業

(1) 地域活動支援センター ライズアップ

- ・利用者さんの個別支援計画の作成、モニタリングを丁寧に行います。
- ・サービスの標準化や記録の効率化、ライズアップ通信を毎月発行、ブログによる公開。
- ・かな美文字（ひらがな教室）、光のクリスマスにおける合唱、ソロ等の出演、ふれあいフェスタ、防災デイキャンプにおける防災展、役場等への制作の販売、ソーデーマーチのボランティア参加、フロアホッケー、花のプロジェクト協力等に取り組みました。
- ・清水高校のインターンシップ受け入れを行ないました。

(2) 指定相談支援事業所 ライズアップ

- ・「特定相談支援」「障害児相談支援」「一般相談支援（地域移行地域定着）」の身体・知的・精神・難病の大人と子どものサービス利用計画作成が、より迅速に行えるよう専用ソフトの購入しました。
- ・事務所を西野添に移転し、日本財団からヘルパー車の助成を受けました。
- ・県のブラッシュアップ研修のパネラーとして、播磨町の相談支援の現状を報告しました。
- ・日本相談支援専門員協会、兵庫県の相談支援専門員協会に登録し、研修会に参加しました。

(3) 播磨町地域自立支援協議会の地域支援ネットワーク構築業務

・障がいのある人が地域で安心して生活できる地域福祉をすすめるため、課題解決に向けて、町内外のさまざまな地域資源をつなぐ調整や、作業部会の運営、コーディネート等を行う地域自立支援協議会の地域支援ネットワーク構築業務を誠実に取り組みくんでいます。本人部会の立ち上げをめざし、「はたらく人のお茶会」の活動、お泊り会、相談窓口のパンフづくりに取り組みました。

(4) 播磨町権利擁護まちづくり委員会

- ・播磨町権利擁護まちづくり委員会の事務局が播磨町社会福祉協議会にかわります。アエソンは、構成メンバーの一員として企画、提案をしていきます。

(5) 保育所等訪問支援事業

・新規事業として、保育所等訪問支援事業の立ち上げに取り組み、木口財団から助成を受け、家族支援講座を実施しました。この成果を次につなぎます。

3、その他、目的の達成に必要な事業

◇アエソンのホームページの更新による情報提供に取り組みました。

◇はりまデザインラボの構成メンバーとして、ラボの定例会への出席、県立東はりま特別支援学校の高等部の通学支援や7月のふれあいフェスタ、喜瀬川でじゃことり、光のクリスマス、花でつなぐプロジェクト、スペシャルオリンピックスの活動等に積極的に参加しています。

◇地域活動支援センター ライズアップの利用者さんやご家族と一緒に、健康福祉フェア、大中遺跡まつりの模擬店、ツーデーマーチ通過ポイントのボランティアなど、地域活動に積極的に参加します。

◇頻繁に職員間のケース会議、連絡・報告・相談を行ない、共通認識のもとに職務遂行しています。

◇毎年1月～3月に、人事考課、運営全体の見直しを行ないました。

◇定款の変更を行ないました。

4、平成 25 年度法人役員

代表理事 政本和子

副代表理事 杉本克弘

理事 北村専次

副代表理事 植田貴代

監事 金 美子

監事 長倉くぬぎ